

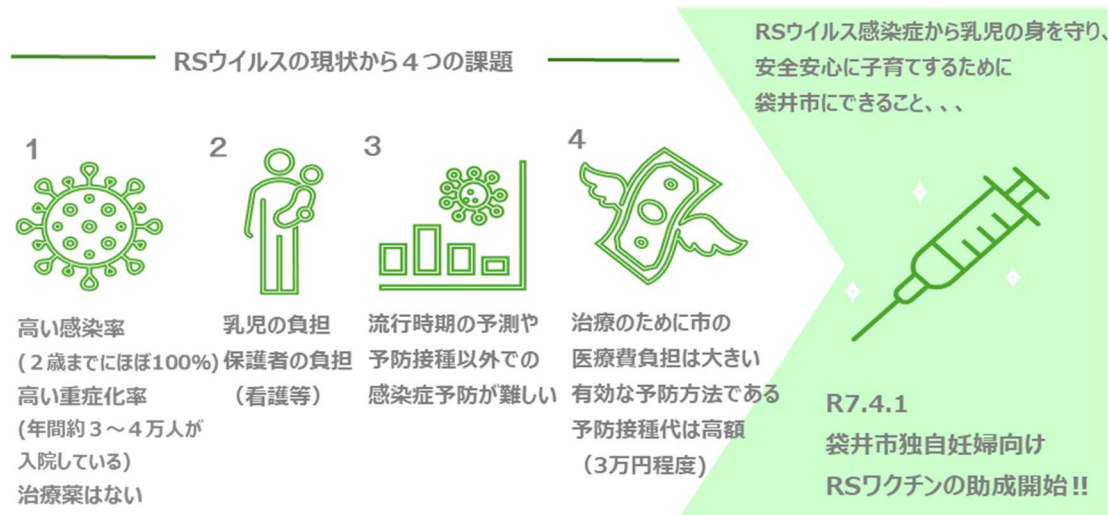
妊婦向けRSウイルスワクチンの一部助成開始 ～RSウイルス感染症から赤ちゃんを守る～

◇RSウイルスは、2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染するといわれ、1歳未満で初めて感染すると重症化する可能性がある。母親がRSウイルスワクチンを妊娠中に接種することで、母体で作られた抗体が胎盤を通して赤ちゃんへ送られるため、生後すぐの赤ちゃんをRSウイルス感染症から守ることができる。

◇現在、国や県の財政的支援制度はなく、2024年度（令和6年度）時点で助成している自治体は北海道の^{かもえないむら}神恵内村のみ。本市は他市に先がけ、県内で初めて接種料金の一部助成を行う。RSウイルスワクチンが1回15,000円で接種できるよう接種費用（約30,000円）の半額相当を本市が負担する。

【概要】

- 1 助成開始 2025年（令和7年）4月1日（火）
- 2 対象者 接種日に妊娠24週から妊娠36週の妊婦
- 3 助成の目的 RSウイルスワクチンの接種費用の一部を助成することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、ワクチン接種によるRSウイルス感染症の蔓延や重症化予防を促し、子どもたちが健やかに育つ環境を整える。
- 4 助成の内容
 - (1) 接種者の自己負担額
1回15,000円で接種可能（約3万円する接種費用の半額相当を市が負担する）
 - (2) 接種場所
市と契約を結んだ袋井市内及び近隣妊婦健診実施医療機関（12医療機関と契約締結予定）
 - (3) 市民への周知
対象者への個別案内、医療機関でのチラシ（別紙）配架、ポスター掲示等



【お問い合わせ先】

袋井市 総合健康センター 保健予防課 保健予防係（担当：加藤）

電話：0538-42-7410 FAX：0538-42-7276 メール：yobou@city.fukuroi.shizuoka.jp